

# カガ んが ぎ

## だいがら 台唐でお餅つき

台唐は、長い棒に取り付けたさねの反対側を足で踏み、  
てこの原理で餅をつく昔ながらの道具。  
年末、町内でも台唐を使用した餅つきが見られました。



議会だより No.167

新年のご挨拶	.....	P 2
12月定例会	.....	P 3
議案質疑・委員会質疑	.....	P 4～
議決結果	.....	P 6
議会のうごき・研修報告	.....	P 7
特集	.....	P 8
一般質問	.....	P 9～
あとがき	.....	P 20

# 新年のご挨拶



市議会議員 沖永 義樹

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より町議会に對しまして、深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り、議員一同、厚く御礼申し上げます。年頭に当たり、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、苧田町合併70周年を迎え、それを記念して様々なイベントを開催し、かんだ港まつりでは記念花火が打ち上げられました。また、渋滞対策として白石地区の交差点改良工事や、小波瀬西工大前駅周辺整備事業の設計がスタートするなど、町政にとって実りある一年となりました。

しかしながら、依然として本町では、

人口減少対策、福祉、子育て、教育、防災・

減災対策、物価高騰の対応など、複雑多岐にわたる課題が山積しております。

議会はこれらの課題に對し、執行機関と連携しつつも、是々非々の立場から、より

良い町の未来を創造するために、果敢に

取り組んでいく所存であります。本年も引き続き、「町民の声」を真摯に受け止め、

開かれた議会を目指し、精一杯努めてまいります。

町のさらなる発展と、町民の皆様の安心・安全の向上に向け、本年も引き続き、町議会に對し、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が、皆様方にとりまして幸多き、実り豊かな年となりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# 千年 エトセトラ



今年は何年です。

12年前の出来事をまとめてみました。

2014年(平成26年)はこんな年でした

・消費税が8%に増税

・御嶽山の噴火や広島土砂災害

・ソチ冬季五輪で羽生結弦選手が金メダル

・「STAP細胞」騒動

【苧田町では…】

・国道201号バイパスの苧田町二崎

（行橋市吉国間開通

・東九州自動車道苧田北九州空港IC

（行橋IC区間開通

・苧田町観光協会設立。公式マスコットキャラクター「豊玉姫」誕生

・苧田町出身大久保嘉人選手がサッカーワールドカップブラジル大会に出場

・福岡県総合防災訓練を苧田町にて実施



## 12月 定例会

### 一般会計補正予算他21件、意見書1件を審議

12月2日  
～  
12月19日

#### 補正予算

令和7年度一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出それぞれ2億4392万7千円を追加し、総額は203億5684万6千円。令和7年度一般会計補正予算(第4号)は、歳入

歳出それぞれ2億4801万8千円を追加し、総額は206億486万4千円。

#### 条例制定

●苧田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める

#### 条例改正

●苧田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

●苧田町家庭の保育事業に関する条例

●苧田町体育施設の設置、管理及び運営に関する条例

●苧田町火災予防条例の改正

●苧田町火災予防条例の改正

●苧田町火災予防条例の改正

#### 人事案件

●固定資産評価審査委員会委員の選任  
松田正勝氏を選任。

#### 追加議案

●苧田町職員給与に関する条例等  
令和7年の人事院勧告に伴う所要の改正。

#### 意見書

●地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書

#### \*令和7年度補正予算(歳出で補正した主なもの)

【一般会計補正予算(第3号)】 ・役場駐車場用地購入費 ・自立支援給付費(障がい福祉サービス) ・障害児通所給付費 ・私立保育園障害児保育事業補助金 ・立地促進奨励金 ・水路維持補修工事 ・学校給食賄材料費	1763万円 6096万円 1077万円 486万円 1400万円 2220万円 367万円
【一般会計補正予算(第4号)】 ・物価高対応子育て応援手当支給事業費	1億3679万円
【国保特別会計補正予算(第4号)】 【国保特別会計補正予算(第5号)】	3645万円 125万円
【後期高齢者医療会計補正(第3号)】 【後期高齢者医療会計補正(第4号)】	▲29万円 36万円
【介護保険特別会計補正予算(第3号)】 【介護保険特別会計補正予算(第4号)】	▲950万円 218万円
【土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)】 【土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)】	29万円 166万円
【下水道事業会計補正予算(第2号)】	376万円
【水道事業会計補正予算(第2号)】	474万円

#### その他の議案

●工事請負契約の締結(町道白石・干拓線道路改良(2工区)工事)  
株マツモトを工事請負人と定める。  
●財産の取得について

## 議案質疑

### ●一般会計補正予算(第6号)

#### ▼歳出

#### 【農林水産業費】

**Q** 大分北部福岡東部鳥獣被害防止対策協議会負担金31万3千円の内容は。

**A** 国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、イノシシ用の捕獲器10台と自動撮影カメラ10台を購入。この捕獲器とカメラはどのようなように使うのか。

**A** 捕獲器は古い捕獲器の更新と被害多発エリアの増強。カメラは的確な動態把握のため、夜間の撮影をする。

**Q** 箱わなの現在の保有数は。

**A** 68台。

**Q** 稼働率は。

**A** 100%。

**Q** 箱わな設置に際し、高齢化や人手不足などの問題はないか。

**A** 令和7年度から人員を増やし対応している。

#### 【商工費】

**Q** 雇用推進奨励金及び立地推進奨励金は何社あるか。

**A** 立地推進奨励金は2社。いずれも自動車関連産業。雇用推進奨励金は1社。2人。

**Q** 今後、対象が予定されている企業は。

**A** 2社。

#### ●財産の取得

**Q** 取得の目的は。

**A** 水路用地として維持管理する。

**Q** 今までの管理状況は。

**A** 土地はJR貨物と賃貸借契約を結び、町が管理していた。

先方より財産処分まで町に購入依頼があり、水路用地を取得する。

#### ●専決第7号

**Q** 今回の変更内容は。

**A** 夜間工事で施工分の清算による増額。

**Q** 見積りの段階で分からなかったのか。なぜ何度も増額補正をかける必要があるのか。

**A** 当初、JR九州と約1億5800万円で委託契約していた。第1回目の変更は予定よりも損傷個所が多く発見されたため、約3100万円の増額。第2回目の変更はJR九州の電気部門の清算分。

## 委員会質疑

### 総務

#### 常任委員会

### ●一般会計補正予算(第3号)

#### 【総務費】

**Q** ふるさと納税による町民税減収金額は。理由は。

**A** 町民税減収額は7600万円。ふるさと納税寄付金額が前年度より、3千万円増加のため返礼品などの必要経費増。

**Q** ふるさと納税の収支は。

**A** 若干マイナス。

#### 【公有財産購入費】

**Q** 駐車場面積と、駐車可能台数は。

**A** 283・81平方メートル程度。

#### 【消防費】



消防被服



**Q** 消防被服費208万9千円の内容は。

**A** 新規職員3名分の制服や活動服、救助服の一式。

#### 【災害対策費】

**Q** Jアラート受信機更新業務委託料

429万円の内容は。パソコンや受信機更新と保守費用。

#### 【財産収入】

**Q** 財産運用収入は新規購入利子分か。

**A** 定期預金や地方債などの利子。

## 産業建設

### 常任委員会

### ●一般会計補正予算(第3号)

#### 【農林水産業】

**Q** 猪のカメラ設置について、効果の予想は。

**A** わななどの設置箇所決定に、夜間の動態調査効果を期待する。

**Q** 箱わなの新規設置台数は。

**A** 新たに10台購入する予定。うち5台は、古いものとの交換。

#### 【商工費】

**Q** 雇用促進奨励金の新規常用雇用者について、京築地域に住所を有する者へと変更されたが、検証は。

**A** 要件改正後の申請が来ていない。状況や企業の要望があるのかを、見据えて検討する。

**提言** 時代に即した対応を考えてほしい。

#### 【土木費】

**Q** 道路の修繕費用は、毎年どのくらいの費用が必要と考えているのか。

**A** 簡易的な補修・修繕のため、毎年、350万円程度を計上している。今年度は補修箇所が多く、追加で予算を計上した。

**●工事請負契約の締結(町道白石・干拓線道路改良(2工区)工事)**

**Q** 片側通行などを行うのか。

**A** 夜間工事を行うことで、できるだけ通勤時間帯に影響を及ぼさない形としている。

## 厚生文教

### 常任委員会

### ●一般会計補正予算(第3号)

#### 【民生費】

**Q** 身体障害者福祉費の扶助費及び老人福祉費委託料が、当初の見込みより多い理由は。

**A** 財政課との調整でサービスマスを約1カ月分減額して当初予算を計上したが、実際のサービスマス給付や対象者の増加があっ

た。

**Q** 児童措置費の私立保育園委託料の増額理由は。

**A** 公定価格の上昇によるもの。

**Q** 私立保育園障害児保育事業補助金の見込み額の出し方は。

**A** 障がい児一人に対し保育士が一人ついた場合に、1カ月につき10万1310円の補助があり、令和4年度から6年度の実績の平均人数で見込み額を算定している。発達支援型巡回訪問支援事業の影響もあり増加した。

#### 【教育費】

**Q** 中学校施設改良工事の花壇の撤去とは。

**A** 正面入り口から裏門までの花壇を撤去する。来年度に予定している新津中学校

の外壁工事に伴う足場設置のため、通路を広くする。

#### ●国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

**Q** 諸支出金の交付金返還金とは。

**A** 資格情報通知などのマイナンバーの連携に伴う事務にかかる補助金の返還、国民健康保険の実績報告による返還、医療費が確定したことに伴う精算分の返還、特定検診にかかる返還。

**●乳児等支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定**

**Q** 外部のものによる評価の、外部とは。

**A** 県から認証を受けた第三者評価機関で、専門的かつ客観的立場から評価を行う。



箱わな

# 議会のうごき

10月	2・9日	議会広報特別委員会 (166号)
	29日	行政視察受け入れ (愛知県大府市)
11月	6日	町村議会広報研修会
	7日	京都郡町議会議員研修会
	21日	田川郡町村議会議員研修会
	27日	全員協議会
	28日	議会運営委員会

12月	2日	令和7年第5回議会定例会(開会) 議会広報特別委員会 (167号)
	4日	議案質疑
	11・12・15日	一般質問
	17日	全員協議会、議会運営委員会、 付託委員会
19日	令和7年第5回議会定例会(閉会) 議会広報特別委員会 (167号)	

## 3月定例会

\*会期は2月25日(水)から3月24日(火)まで  
\*一般質問は3月5日(木)・6日(金)・9日(月)  
\*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

## 議会中継

12月末時点アクセス件数  
ライブ中継 760件  
録画中継 4814件 (令和7年4月からの累計)

# 研修報告

## 京都郡町村議会議員研修会

11月7日に行橋京都自治会館(NOSAIビル)において京都郡町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、苅田町議会より8人が参加しました。「日本の政局と今後の展望」をテーマに、ジャーナリストの岩田公雄氏による講演がありました。記者時代からの確かな経験に基づく情勢の分析は、大変興味深いものでした。

## 田川郡町村議会議員研修会

11月21日に田川郡町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、苅田町議会より6人が参加しました。講師竹原裕美氏による「町民に信頼される対話と発信の技術」をテーマに、地域住民から信頼される議員になるには、変化の時代に必要なコミュニケーションとはという2点について学びました。



## 町村議会広研修会

11月6日に町村議会広報研修会が、博多サンヒルズホテルにて開催され、委員8人で参加しました。今回の研修テーマは「戦略的広報と議会報づくりの型」を受講。議会報は、プッシュ型が不可欠。それは議会が情報を発信することで関心がない人の目にも触れる可能性があるとのことでした。これからも町民の皆様へ、より良い広報紙をお届けできるように努力してまいります。



# 令和7年第5回苅田町議会定例会議決結果一覧表

番号	件名	角崎明美	森琢磨	福山直樹	田淵朗	末石伸二	花見文敏	村上智宣	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	小山信美	武内幸次郎	坂本東二郎	榎谷忠明	沖永議長	結果	
議案第84号	令和7年度苅田町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	令和7年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	令和7年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	令和7年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	令和7年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号	苅田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	苅田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第91号	苅田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第92号	苅田町体育施設の設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第93号	苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	苅田町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	工事請負契約の締結について(町道白石・干拓線道路改良(2工区)工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第97号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第98号	令和7年度苅田町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第99号	令和7年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第100号	令和7年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第101号	令和7年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第102号	令和7年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第103号	令和7年度苅田町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第104号	令和7年度苅田町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第105号	苅田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書案第8号	地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○-賛成、×-反対、欠-欠席 除-除斥(議案に利害関係を有するため退席)。議長は採決に加わらない。ただし、賛成と反対が同数の場合は、議長が可否を決定する。

※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

一般質問内容一覧

12月定例会において  
10名の議員が質問



質問者氏名	質問要旨	掲載
小山 信美	1 RSウイルス感染症 2 マイナンバーカードの更新 3 防災・減災	10 ページ
森 琢磨	1 地元木材を活かした（地産地消）、誰もがくつろげる新庁舎づくりについて 2 総合計画の後期計画（R8年度からR12年度）策定にあたっての手順、策定体制、施策の設定などについて 3 パンジープラン21第9期計画、介護保険事業計画（R6年度からR8年度）介護保険事業の基盤整備及び適正な運営について	11 ページ
末石 伸二	1 投票率低下の要因 2 企業立地の状況 3 選挙公約を確実に 4 日産自動車支援プロジェクトチームとは	12 ページ
武内幸次郎	1 行政課題に向けた三期目の取り組みについて	13 ページ
岩谷 潔	1 県の土砂災害警戒区域等の指定に関する住民説明会を終えて概ね10年間の公共施設、インフラ整備にかかる費用	14 ページ
田 淵 朗	1 日産自動車の生産移管について 2 市街化農地の土地利用について	15 ページ
福山 直樹	1 2040年問題と福祉政策及び地域づくりについて 2 不登校対応の専門人材の配置などについて	16 ページ
角崎 明美	1 学校給食無償化について 2 本町の商店街振興について 3 外国人労働者の受け入れと町民の安心安全な暮らしについて	17 ページ
白石 学	1 データヘルス計画 2 学校教育 3 物価高対策	18 ページ
尾形 均	1 3期目、施政方針について 2 人口減少社会における自治体のあり方	19 ページ

一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問の録画映像は、苅田町議会ホームページでご覧いただけます。

= 特 集 =

役場周辺が

大きく

変わります！



苅田町役場の新庁舎の移転に伴い、  
歴史資料館や図書館周辺整備も  
行います。ご期待ください！



歴史博物館は  
ココ！

貴重な資料が展示されます！  
ぜひご観覧を～

新庁舎はココ！

三原文化会館解体後  
新しい庁舎が  
造られます😊

富久公園は  
ココ！

図書館と一体的な  
整備が進め  
られます😊

三原文化会館  
歴史資料館の解体

石塚山古墳

文化財保護ライン

### Q 妊婦の定期接種と高齢者対策は

**A** 有効性88%、国の動向を注視



小山 信美 (公明党)



**Q** 妊婦へのRSウイルスワクチンの定期接種開始時期と、対象者は。

**A** 令和8年度から。妊娠28から37週の妊婦。

**Q** 公費負担と接種体制、周知方法は。

**A** 自己負担はなし。町の負担は約3万円。母子手帳交付時に説明する。

**Q** 医師会の見解は。

**A** 基礎疾患者や子どもからの感染に有効。検討したい。

### マイナンバーカードの更新

**Q** マイナンバーカードの取得者数と保有率は。

**A** 約3万人で79.5%。

**Q** 更新の周知方法は。

**A** 誕生日3カ月前に、地方公共団体情報システム機構から通知がある。

**Q** 有効期限切れの影響は。

**A** 保険証・コンビニでの証明書発行不可。

**Q** マイナ保険証のメリットは。

**A** 医療情報の共有、高額療養費限度額申請不要、確定申告の医療費控除が簡単。

**Q** 更新の窓口体制は。

**A** 職員1人と会計年度任用職員4人。

### 防災・減災

**Q** 避難所運営訓練の成果と課題は。

**A** 150人を超える多世代が参加。女性

の参加不足。

**Q** ペット同行避難場所は。

**A** 中央公民館と駐車場の一部。

**Q** ペット同行避難訓練の実施は。

**A** 未実施。検討する。

**Q** 福祉避難所の設置基準と運用体制は。

**A** 長期避難で要配慮者支援が必要な時、介助人員や支援体制の確保。

**Q** 受付の混雑対策と今後の改善方針は。

**A** 行わなかった。検証し、改善する。

**Q** 備蓄内容は。

**A** アレルギ―食約6300食、高齢者向けにリゾットなど、液体ミルクは96缶。

**Q** 停電時の備えは。

**A** 発電機13台とパワームーバーが1台。

**Q** 医療などの電源対応は。

**A** 今後、増やしていく。

**Q** ピクトグラムの必要性と、今後の取り組みは。

**A** 準備はしていたが、当日持参を失念。大学など地域連携を検討する。

**Q** ビブスの背面表示の検討は。

**A** 次回から検討する。  
**Q** 防災士の人数は。  
**A** 63人。うち女性は24人。  
**Q** 今年度の受講者は。  
**A** 7人中、女性は3人。  
**Q** トイレカーの導入時期は。  
**A** 年明けに納車予定。



RSウイルス感染症予防チラシ

### Q 地元木材利活用の新庁舎建設

**A** 適切な素材だが、今後検討する



森 琢磨 (高志会)



**Q** 建設計画は。

**A** 令和8年度の文化財の確認作業完了後に発注し、令和12年内に完成予定。

**Q** 概算工費は。

**A** 本体工事費約59億円、設計・管理費などで合計約65億円の予定。

**Q** 内装・空間づくりには木材の採用は。

**A** 木が持つ温かみや柔らかさが安心感や安らぎを生む。ふさわしい材料だが、今後検討する。

**Q** 賑わい、防災双方への対応は。

**A** 庁舎内にイベントや飲食可能な多目的スペースを設け、駐車場は、イベント会場や災害発生時の支援活動拠点を検討。

**Q** 地元木材を構造材・内装材・家具への利活用方針は。

**A** 京築ヒノキの活用は推進中だが、規模や耐震性能から構造材への活用は無理。

**Q** 町内森林の利活用は。

**A** 町内森林の利活用は。

**Q** 先進的な取り組みだが、現段階では想定していないので、今後勉強していく。

**提言** 地産地消の観点からも、町内の利用可能な森林の利活用を検討すべきだ。新庁舎は単なる行政手続の場ではなく、あらゆる世代が心地よく過ごし集える、人と木の温もりを感じるスポットとなる事を望む。

### 総合計画の後期計画策定

**Q** 業務委託内容は。

**A** 調査や分析及び提案・助言の支援。作業前の策定方針やスケジュールなど。

**Q** 職員の関与は。

**A** 委託業者の助言を受け、職員主体で施策の目指す姿や目標値の見直しなど。

**Q** 町民の意見把握は。

**A** アンケートで課題を把握し、パブリックコメントで広く意見を得る。

**Q** 策定の決定方法は。

**A** 学識経験者や一般公募町民などで構成される総合計画審議会での審議や答申及び議会。

**Q** 周知方法は。

**A** 広報誌やホーム

ページ。

**提言** 総合計画は、行政運営の最上位計画で、まちづくりの羅針盤だ。町民意見を反映させた透明性のある計画策定を望む。

### 介護保険事業計画

**Q** 現況調査結果は。

**A** 団塊ジュニア世代が65歳以上を迎える

2040年問題を鑑みると、人材確保不足や経営問題で閉所する事業所などの出現が危惧される。  
**提言** 介護の実態・把握・分析を行い、地域包括ケアシステムと共に、安心して暮らし続けられる介護保険制度に取り組むべきだ。



木材活用イメージ (大阪府大阪市東淀川区 HP より)

### Q 県道25号線の交通量が懸念されるが

### A 国、県の道路にも要望していく



末石 伸二 (飛翔の会)



Q 新松山工業団地の工場立地が1年延期されたが、現在の協定内容は。

A 未締結ではあるが、計画を中止される心配はしていない。

Q 1年後の土地価格に変化はないのか。

A 土地は売買済みであり、価格変更はない。

Q 第三期分譲開始はいつから。

A 鋭意工事を進めているが、県からの具体的な工期の情報は

ない。竣工から半年程度と考えられる。

Q 本町の企業立地奨励金は最大5億円であるが、他自治体と比較して競争力があるのか。

A 遜色ない金額となっており、競争力はある。

Q 企業誘致を進める中で、今後の渋滞緩和策は。

A 道路網の整備、車線の増設。

### 選挙公約を確実に

Q 資材の高騰など懸念される中、小波瀬西工大前駅周辺整備や新庁舎建て替えの進捗状況は。

A 小波瀬西工大前駅周辺整備は、補助金の活用やJRとの費用負担協議を行いながら工事の遅れがないように進めていく。新庁舎建て替えは、令和9年度以降に設計施工に移り、12年度に完成予定。適正

な資材調達に務める。  
Q 今後、公約以外の新たな重点化するべき課題は。  
A 大雨に対する防災、白川地区の農業振興、イノシシ対策、公園やグラウンドへの照明設置など。

### 日産支援プロジェクトチーム

Q 現在の状況は。

A 今月中に第2回会議を開催し、各課の進捗を共有する。

Q 生産移管に伴う地域経済や雇用環境の懸念とは。

A 工業用地や住宅の確保、就学や子育て環境、都市計画の見直しなど。

Q プロジェクトチームとしての進捗管理、モニタリング体制は。

る。

Q 補助金が削減され、計画のずれ込みは。

A 人口普及率が56.1%。計画年度へ向け努力していく。

Q 公費負担率の現状は。

A 一般会計からの繰入れは令和7年度予算で下水道が4億7千万円、農業集落排水が1億円程度。

Q 汚水処理費用は料金収入で賄う独立採算制だ。支出抑制と収入改善策は。

A 浄化センターなどの修繕支出で増は否めないが費用抑制に努めていく。収入的には人口集中地区を集中的に整備し、繰入れ改善に努める。

提言 受益者負担金をなくす方法もある。

A 町が抱える課題ごとに必要な支援策の検討を進めており、責任を持って取り組んでいく。

### 投票率低下の要因

Q 町長選挙における投票率の傾向は。

A 減少傾向で、全国的にも身近な選挙は関心が薄くなっている状況。

Q 期日前投票が庁舎

4階で行われたが、町民からの声は。  
A コロナ対策で行っていた三原文化会館が使いやすいかつたという声を聴いている。

Q 移動期日前投票所や公民館、商業施設などの期日前投票所を検討したことは。  
A 現状がベストと考えている。先進的な事例があれば、効果について研究や検証を行っていききたい。



期日前投票所のイメージ

国の動向を踏まえ、本町も広域化について検討すべきだ。

### 工業用水確保

Q 工業用水の計画給水量は日量7万5千リットルであり、数字的には余力があるが何らかの制限による制限を

余儀なくされた。企業誘致をする上で工業用水確保は不可欠では。  
A 工業用水確保は必須条件だ。県と連携をしながら確保に努力する。  
提言 大きな河川を有していない本町にとっては、新たなポットが必要だ。



市街化田

## Q 工期を生かせる都市計画に努める



武内 幸次郎 (無会派)



Q 都市計画の意義をどのようにとらえているのか。

A 未来を見据えたまちづくりの基軸だが、時代の流れに対応が必要だ。

Q 国の都市計画運用指針は抽象的で、判断は町に委ね、強制しないとも読み取れるが。

A 社会情勢、変更などは弾力性を持たせており、機動的な対応を視野に入れている。

Q 国には数多くのメニューがある。地域の実情に応じて活用するのが、町の役割では。

A そのように理解している。

Q 54年間で本町の交通インフラ整備もなされた。都市計画の抜本的な見直しの時期では。

A 日産の動向も視野に、見直しのチャンスだ。対応していく。為政者は予測力、調整力、決断力が必

要では。

A 行政運営の面では非常に大切な要素だ。

提言 未利用地の規制誘導策なども視野に入れ、追浜工場の従業員やサプライチェーンの受入れ支援対応を望む。

### 下水道の展望と経営戦略

Q 計画区域全体の事業終了時期は。

A 整備済み年度を令和27年度末としてい

### Q 土砂災害警戒区域等、新たに指定されたのはなぜか

### A レーダーや地図の精度が増した



岩谷 潔 (飛翔の会)



Q 各会場の参加人数は。

A 北公民館5人、中央公民館8人、西部公民館7人、小波瀬コミュニティセンター16人。

Q どのような方が参加されたのか。

A 区長7人、警戒区域内在住者など。

Q 説明後の質疑内容は。

A 「災害が発生する降雨量は」、「土砂災害警戒区域は誰が警戒するのか」など。

Q 住民の不安感は。

A 不安というより、町は何をしてくれるのか、という思いがあると感じた。

Q 土砂災害に関して

A 県指定だが、他の防災情報マップに載っている災害は。

A 内水氾濫は上下水道課、洪水は県河川管理課、高潮は県港湾課。

Q 新たな指定箇所は。

A 警戒区域45カ所、特別警戒区域37カ所。

Q 全体では。

いのではない。  
A 要望があれば防災情報マップの説明をしている。よりきめ細かい周知方法を検討する。

Q 特別警戒区域内の住宅で移転や構造規制は。

A 今、建っているものは必要ない。

Q 区域内の住民と一般の方と避難基準の違いは。

A 違いはない。

Q 降雨量が多いと土砂災害が起きやすいのでは。

A 区域設定は降雨量での想定をしている。

Q 避難経路に区域が含まれているところは。

A ある。

Q 要配慮者利用施設が含まれているか。

A 福祉施設、医療施設17カ所。

施設には町に避難計画を提出していただいている。

提言 危険箇所

の把握だけでは住民の命は守れない。周知、きめ細かな避難体制の確立を。

Q 与原区画整理事業は。

A 約9億円程度。

Q 公共施設整備時の起債は。

A 基金が50億円ある。基金を充てなければ7割が起債。

Q 義務的経費が年間数億円増加してくるが、財源確保は。

A 企業誘致により、税収が増加することが大きな財源。

### Q 日産の移管への対応は

### A 非常に重要



田 朗 (高志会)



Q 本町の現状認識と今後の対応について

A 雇用の拡大、消費税増が見込まれる。課題は。

A 道路渋滞、住宅確保、工業用地の確保。

Q 工業用地の確保の取り組みは。

A 現状、まとまった工業用地の確保が困難な状況。

Q プロジェクトチームのリーダーに副町長、メンバーには企画、財政、都市計画、交通商工、建設各課

長だがなぜか。

A 渋滞の解消、住宅の確保、工場適地の情報提供などを所管するメンバーを選定した。

提言 日産の生産移管

がよりスムーズに行われるよう、町としてしっかり対応すべきだ。

### 市街化農地の土地利用

Q 市街化区域の農地とは。

A おおむね10年以内に、市街化を図るべき区域。

Q 土地の積極的な利用を推進するための施策は。

A 都市計画道路の整備が有効。

Q 都市計画決定している4車線から2車線に車線を減少する方針の下、県との協議の進捗状況は。

A 継続して県及び県警本部と協議を重ねている。

Q 実際の整備時期は、

以前では未定との回答だったが現在は。

A 未定だが、最近の町を取り巻く社会経済状況を踏まえ、優先度は一段と高まっている。

Q 現在整備している南原殿川線の次に整備する路線の決定は。

A 都市計画道路の整備の順番、時期は具体的に計画は立っていない。総合的に勘案して整備路線、時期を決定する。

Q 都市計画決定の変更が終わり次第、一刻も早く苅田港循環線の整備にかかるべきでは。

A 整備の優先度は非常に高まっている。

Q 県との協議はなかなかハードルが高いように感じ先に進んでいない印象だが。

A 今後、循環線がいかに重要な道路であることをアピールし、協議がスムーズに進むように尽力したい。

的な土地利用を促すため、さらに今後一層の町の発展のためには、循環線の整備が必要不可欠だ。

提言 この地区の積極



都市計画道路苅田港循環線計画地 (集側)



苅田町防災情報マップ

### Q 不登校対応の専門職 充実の考えは

A 将来的には各学校に 1人配置したい



福山直樹 (飛翔の会)



Q 不登校の児童生徒数の推移は。

A 令和6年度は前年度より8人増加し、小中学校合わせて134人。

Q 近隣の比較では。

A 児童生徒数が違うが、率的には近隣とも変わらない。

Q 不登校対応の専門職の配置は。

A 会計年度任用職員 の指導主事を1名増員。委託契約のスクールソーシャルワーカー、県と町が派遣

するスクールカウンセラー。

Q 専門職が行う支援内容は。

A 学校訪問による児童生徒への支援、保護者への教育相談、関係機関との連携、家庭への自立支援相談、助言、教職員への研修など。

Q 専門職は孤立しがちと言われているが。

A 専門職が各学校の不登校対策委員会に参加している。町と学校が課題を共有し、

チーム対応をしている。

Q 交通費補助の内容は。

A 準備段階だが、すみれ教室やフリースクールに通う児童生徒に、交通費の補助を考えている。

### 2040年問題と福祉政策

Q 2040年問題について、本町の捉え方は。

A 団塊ジュニア世代

が65歳となり、高齢者人口がピークを迎える。医療費や介護給付費が増大し、福祉人材の不足が懸念される。

Q 2040年に向けて、重点施策は。

A 安定的なサービス提供体制の確保、相談支援体制の充実、人材確保策。

Q 人材確保について町内の専門学校に協力を求めている。

A 検討の余地はある。

Q 町独自の福祉人材育成の取り組みは。

A 介護事業所の職員やケアマネジャーを対象に研修をしている。

Q 今後の行政職員の専門職確保は。

A 町の事業や専門職の業務量を勘案して、適切に採用したい。

Q 福祉政策と地域づくりを一体的に進め、効果を上げている自治体がある。本町でも小学校区ごとに地域協議会のような組織を作れないか。

A そんな組織がある地域がまとまり理想的と思う。勉強して検討したい。

Q 福祉行政も縦割りではなく、分野を超えて検討したい。

A 国の施策を注視し、町の事情に即した機能的な組織を検討したい。

提言 福祉政策を効果的に進めるために、地域づくりとの一体化を目指すべきだ。



荻田小つながり隊イベント

### Q 外国人受け入れにおいて大切なことは

A 日本人と外国人が 尊重し合う環境づくり



角崎明美 (無会派)



Q 過去5年間の外国人 数の推移は。

A 平成28年までは600から700人前後で推移。平成30年8月1534人。令和4年3月888人。令和7年11月過去最高の1664人。

Q 本町の日本人の人口は減り続けている。

A 足りない労働力を外国人に頼るだけではないのか。

A 外国人労働者に頼るだけでなく、本町の若い世代が地元産

業に興味を持ち、働く意欲を育むことが最も重要。

Q 次世代の人材育成は。

A 荻田工業高校と連携し、町内の工場見学バスツアーを実施。地元産業の魅力を伝え、人材確保につなげたい。

Q 小中学校の教育は。

A キャリア教育を通して労働観を育成し、自己実現ができる子どもへの育成に努めている。

Q 外国人に関わるトラブルは。

A この半年で11件。Q どのように対応しているのか。

A 主に関係機関についている。

### 学校給食無償化について

Q 小学校給食無償化について国からの通知は。

A まだない。正式な情報を注視していきたい。

Q 無償化で最も問題となる質と量の確保は、守られるのか。

A 国が定める学校給食摂取基準に従っている。質と量の低下がないように努める。

Q 保育園給食の無償化についての考えは。

A 現在のところ考えていない。

### 商店街振興について

Q 商業振興として行っている内容は。

A プレミアム商品券のプレミアム率の補助、土曜夜市、商店街クリスマスツリー、今年度から荻田まちゼミを実施。

Q 荻田まちゼミの具体的な内容は。

A 商店主が講師となり、専門的な知識や情報、コツを受講者

に伝える少人数制のゼミ。客、店、地域にとって三方よしのコミュニケーション事業。Q 効果は。

A 町や商業の活性化につながると考えている。

Q 町長の商業振興に対する考えは。

A 商店街からの要望や提言により、町と関係機関が一体となり意見統一をすることで効果的な支援につなげたい。

第1回 荻田はしご酒大会 今夜「はしご」で、まちを味わう。開催日: 11月19日(水) 受付: 17:30 / 《スタート》18:30

第1回 荻田まちゼミ 2025.11.3(月)・29(土) 2025.11.1(土) まちゼミとは? 色にご注目!

### Q 医療費抑制の取り組みは

### A 生活習慣病、特に糖尿病予防



白石 学 (公明党)



Q 減塩のスマソルプロジェクトの具体的な取り組みは。

A 広報での周知、スマソルレシピ料理講習会を開催。

Q 町独自の取り組みで、効果は上がっているのか。

A 明確に図れない。町民アンケートを実施し、効果を図るようになりたい。

Q 糖尿病の被保険者数が県と比べて高い。特に血糖値が10ポイントも高い理由は。

A 生活習慣に起因。運動習慣が無いや間食をする項目が高いことが要因の一つだ。Q 糖尿病性腎症重症化予防プロジェクトへの取り組みは。A 感覚の低下からやけどや切り傷に気づきにくいいため、フットケアの重要性を指導。医療機関への受診を進めている。Q 令和6年度から特定保健指導にアウトカムが導入された。この効果は。

A 具体的な数値目標で達成を確認でき、モチベーションアップになり、メタボリック症候群の改善につながる。

### 学校教育

Q 未配置の状況は。

A 小学校で常勤教員が1人、中学校で常勤教員3人と非常勤教員2人が未配置。

Q 臨時免許状による常勤講師は何人か。A 小学校では臨時免

許状による助教諭が10人、中学校ではない。

Q 教職員の働き方改革による取り組みで長時間労働や業務過多の改善は。

A 定時退校日、学校閉庁時刻の設定、学校行事の見直しや校務のICT化などにより、一定の効果は上がっている。

Q 子どもたちは、一人一人成長度合いが異なる。教員の研修はこのような視点を身につけられるものか。

A 個々の子どもに応じて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業の改善を推進している。

Q 教員のメンタルヘルスのケアについて

### Q 3期目の施政方針は

### A きらりと輝く誇れる町に



尾形 均 (無党派)



Q 「きらりと輝く」これは何を輝かせたのか。

A 町政運営が総合的に円滑に進むような体制。

Q 「誇れる町に」とは何を誇れる町か。

A 例えば財政力指数が全国ナンバーワンであること、今後の事業が円滑にできること。

### 町政が目指す6つの政策

Q 我が国最大のテーマの一つ、人口減少への対応が触れられていない。本町では関係ないということか。

A 我が国最大の課題だと思っている。本町でも人手不足は起きている。Q 本町は、社人研の推計では微減である。町を預かる者として、これにどう対応していくか示して欲しかった。2040年の推計人口は。

A 3万6299人。

Q 近隣市町では。

A 行橋市8・1%減、みやこ町32・3%減、北九州市14・7%減。

Q 人口減少の社会に与える影響は

A 労働力減少、税収の減少、公共施設の維持費の増大。結果、産業が衰退し町の活気が失われる。

Q うち労働力減少は税収減につながり、社会保障費の増加になる。また、生産性低下により市場の縮

小にもなるが。

A 地域経済の消費が減少。行財政の影響はインフラ施設の利用低下により維持費が増大する。

提言 人口減少による社会への影響は市場の縮小により社会全体が小さくなる。これに歯止めをかけるべく行政運営を行うこと。

### 防災対策

Q 我が国は、4つの岩盤に乗った国土である。そのひずみで必ず地震が起きる。その対応はどうしているか。

A 準備をしてほしい。防災対応

具体的な内容は。

A 対面、電話、メール、LINEなどによる、24時間相談ができる窓口を周知。

### 物価高対策

Q 重点支援地方交付金について、町長の考えは。

A できれば近隣並みの物価高騰対策をやりたい。

いきいきかんだ21  
第3次菊田町健康づくり計画  
令和7年度～令和18年度

第3期菊田町国民健康保険健康事業実施計画  
(データヘルス計画)  
第4期菊田町特定健康診査等実施計画  
令和6年度～令和11年度

令和7年3月 菊田町

令和6年3月 菊田町

第3次菊田町健康づくり計画

きらりと輝く誇れる町に

遠田町政が目指す

菊田町の未来をデザインする6つの政策

- 子ども・子育てで世代を力強く支援
- 時代の変化にすなやかに対応できる町へ
- 誰もが元気に安心して暮らせる町へ
- もっと住み続けたい魅力ある町へ
- スポーツ・文化活動の環境充実
- 災害に強く防災意識の高い町へ

遠田町政が目指す6つの施策

メイキング風景  
大公開！



■苜田工業高校では…



■設置では…



## 毎年苜田駅を彩るイルミネーション。

制作から設営まで、産官学が連携して、毎年様々なテーマで手作りしています。今年のテーマは「苜田町の魅力～さりり苜田町☆新発見・再発見」。みんなの思いがこもった温かい光が駅の利用者の心も温かくしてくれています。

点灯期間は2月5日（木）まで。  
この機会にぜひ一度ご覧ください。

関係者の皆さま  
ありがとうございました！

### 表紙の写真



台唐でお餅つき

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
角 崎	森 琢 美	福 山 直 樹	田 淵 朗	末 石 伸 二	小 山 信 美	村 上 智 宣	榎 谷 忠 明

### 議会広報特別委員会

あながき  
新年明けましておめでとう  
ございます。皆様健やかに佳  
き新春をお迎えのこととお慶  
び申し上げます。  
昨年はトランプ関税を発端  
とする自動車関連企業への影  
響など、さまざまなことがあ  
りましたが、本町としては、  
これからの可能性を感じる内  
容もありました。本年も「開  
かれた議会」を目指し、対話  
を大切に全力でまい進してま  
いります。皆様にとって幸多  
き一年となりますように心よ  
りお祈り申し上げます。  
村上 智宣